



航空自衛隊

小牧基地



輸送／空中給油機 : C130H・KC130H・KC767

搜索／救難機 : U125A・UH60J





南海トラフ地震発生時における航空自衛隊小牧基地の活動

1 自衛隊の対処構想

自衛隊は、発災当初、各部隊ごと要請に基づく災害派遣（自主派遣を含む。）を実施するとともに、大規模災害派遣準備を実施する。

じ後、防衛・警備等の所要及び国際貢献等との吻合を図りつつ、大規模震災災害派遣命令により大規模災害派遣を実施し、政府及び自治体による人命並びに財産の保護に寄与する。

※1 SCU: Staging Care Unit

2 航空自衛隊の任務

航空自衛隊は、「空災南海部隊」を編成し、次の活動を実施する。

- (1) 航空機等による情報収集
- (2) 航空機による捜索及び救助並びに緊急空輸
- (3) 基地周辺等における応急対処活動

ア 人命救助活動

イ 医療活動

広域医療搬送及び救護班の派遣

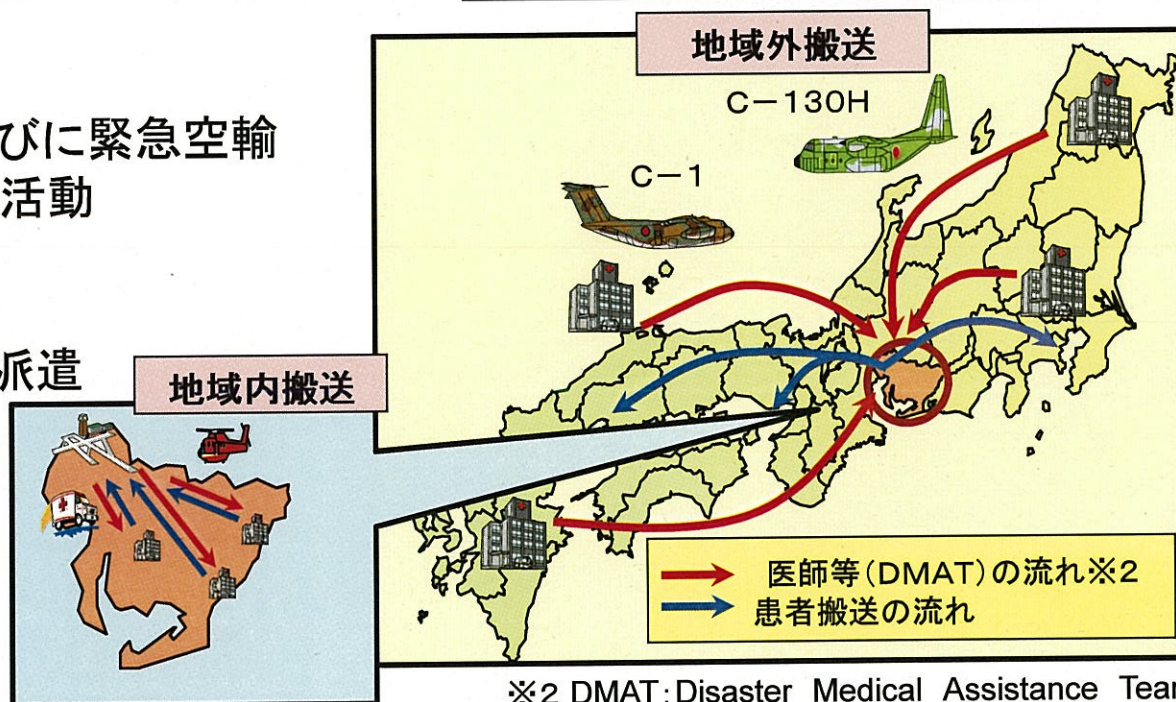
ウ 交通の確保

エ 緊急輸送活動

オ 生活支援

広域医療搬送訓練（SCU訓練）※1

→25年度は、名古屋～仙台間の訓練を実施



3 小牧基地の活動

東海地区の物流の中心地としての役割

(1) 地上災害派遣

地上派遣隊を編成

人命救助、行方不明者の搜索、消防活動、医療支援、給食支援 等

(2) 航空機による活動

ア 物資や人員の空輸(C-130H、KC-767)

→東日本大震災では約2300トンの救援物資を輸送

イ 機動衛生ユニットを使用しての患者輸送(2ユニット保有)

ウ 搜索機及び救難機による搜索救助(U-125A、UH-60J)

(3) その他

ア 県、10師団等への連絡官の準備

イ 10師団、関係機関と連携して活動

KC-767



UH-60J



U-125A



機動衛生ユニット

C-130H



2ユニット搭載可能

機内搬入前の患者の安定化処置
監視モニター等を使用した全身管理
容態急変時の呼吸循環確保のための対応



空飛ぶICU

※1

※1 ICU: Intensive Care Unit

4 今後の協力態勢

中部地方整備局、愛知県、陸・海自衛隊との相互理解を促進し、連携を強化

広域医療搬送時の連携の強化(必要に応じ施設の提供、県営と連携して人員、物資の集結地を確保)

→中部地方整備局、愛知県が検討中の「中部圏における基幹的広域防災拠点(県営名古屋空港)の活用及び整備方針」について、早期に県、陸自10師団との検討が必要

災害派遣(緊急患者空輸)





平成25年度 防災訓練の概要

DMAT輸送



患者搬入

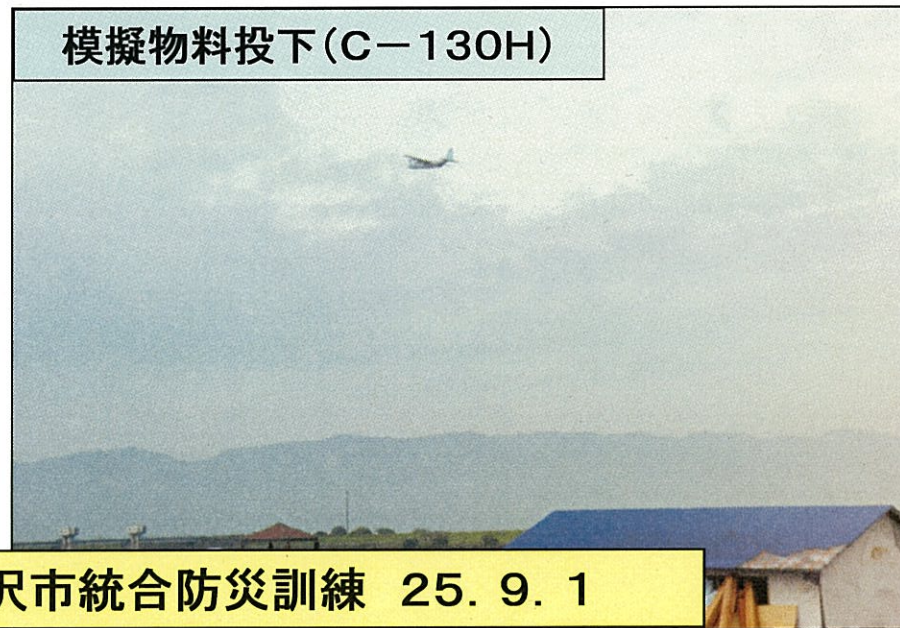


平成25年度統合防災訓練(SCU訓練 名古屋～仙台) 25. 8. 31

気象観測



模擬物料投下(C-130H)



平成25年度愛知県・稲沢市統合防災訓練 25. 9. 1

地上災害派遣隊編成



人命救助システム運用訓練



平成25年度小牧基地総合防災訓練 25. 9. 2

通信・気象



被災者搬送



平成25年度愛知県・美浜町津波地震防災訓練 25. 11. 17